

# 令和3年度静岡県さくら写真コンクール入賞作品選評

## 「総 評」

今年の応募作品は、


「桜の風景」部門	483点	(前年度 470点)
「富士山と桜」部門	200点	(前年度 239点)
合 計	683点	(前年度 709点)

去る5月25日に3名の審査員により審査が行われました。

今年は昨年につき新型コロナウイルスの影響から、応募点数の動向が心配されましたが、全体の応募点数は前年度より26点減少したものの大きな変化はなくほぼ横ばいで推移しています。作品の内容は例年と比べてもなんら遜色なく、特にベテランの方々の作品は素晴らしい作品が多く、コンクール全体のグレードアップに貢献されていることが感じられました。

ただし、全体的な応募作品の多くのプリントで感じることは、自家処理によるプリントだと思われませんが、色の調整で手を入れすぎて、派手な色調にするあまり自然の色を壊している作品が多く目立ちました。

今後の作品制作に際しましては、加工に頼らない自然の魅力ある作品の応募を期待いたします。

	最優秀賞		
	部門	部門共通	
	作品名	薄月桜(うすづきざくら)	
	撮影地	裾野市須山	
	撮影者	岩浅 利泰 (御殿場市)	
	<選評>	この作品は夕暮れ時の時間帯でしょうか、暗闇の中に咲く桜の老木を大きく入れ、花に照明を当てて浮び上がらせています。そのうえ微かに残る残照の空の雲間に昇った月の光を巧みに扱いドラマチックな風景に仕上げています、ブルーの空に赤く染まった雲の色が効果的です。画面の構成力、撮影技術など素晴らしく、秀逸な作品になっています。事前のロケハン等の計算とプラス自然の幸運の結果だと思います。	

# 「桜の風景」部門



## 特選

作品名	工場彩る夜桜
撮影地	富士市依田橋
撮影者	石上 剛也 (島田市)

### <選評>

岳南鉄道沿線の工場の夜景のようです、線路脇の桜とライトアップされた工場を長時間露出で撮影しています。煙突からの煙も風により長く流れており効果的です、桜の花と工場のピンクの色彩に対し、空のブルーも美しく画面を構成しており、作者の力量を感じさせてくれる作品です。



## 準特選

作品名	朝の光に
撮影地	御殿場市東山東山湖
撮影者	上野 祐司 (神奈川県足柄下郡)

### <選評>

御殿場市の東山湖の湖畔の作品です。湖畔の岸辺を歩く一匹のサギを中心に捉えています、逆光で輝く桜の花が美しく二本の桜の幹の重量感が画面を引き締めています。画面構成、シャッターチャンスなどとても秀逸です。



## 準特選

作品名	雨間のほとり
撮影地	静岡市葵区足久保口組諸川池
撮影者	吉村 宗之 (静岡市駿河区)

### <選評>

静岡市足久保口組にある、諸川池の雨の日の風景とのこと、遠景の山には霧がかかり、水面は鏡の様に静かです。新緑の樹々と桜が水面に写り、静寂の中にひんやりとした空気感まで写されています。良い条件のチャンスをものにしています。



「富士山と桜」部門



特選

作品名	紅白桜の春
撮影地	三島市谷田
撮影者	山口 勉 (三島市)

<選評>  
三島市谷田の風景です。やや高い位置から丘陵地を俯瞰し、紅白の桜の木を前面に入れて遠景の富士山を撮影しています。富士山や桜の撮影ポイントはほぼ限られた場所で定常化しているのですが、この写真の場所は珍しいように思われます。画面構成や露出など撮影技術もしっかりしていて作者の力量を感じます。



準特選

作品名	桜の花園
撮影地	富士宮市西山
撮影者	市村 廣一 (富士宮市)

<選評>  
富士宮市西山での撮影、満開のコメ桜(豆桜、富士桜、とも呼ばれているようです)と富士山で構成しています。  
安定した構図で撮影しており、黄色のレンギョウの花でしょうか、色彩的にも変化を付けており良い作品になっています。



準特選

作品名	春が駆けてゆく
撮影地	富士市入山瀬富士西公園
撮影者	三神 壽明 (富士市)

<選評>  
富士市入山瀬富士西公園での作品、満開の桜や新緑の樹々をバックに広々とした公園の広場を一人の少年が駆けていきます。画面全体を春らしい淡い色調にしており、少年の動きをプラスなど作者の狙いが的確に表現されている素晴らしい作品だと思います。

	特別賞（道路利用者会議会長賞）	
	作品名	橋の下の春
	撮影地	静岡市清水区吉原
	撮影者	望月 正晴 (静岡市清水区)
<選評> 清水区吉原の新東名道路を下から撮影したもので、的確な構図と撮影技術により道路の状況など良くわかる良い作品です。		
	U-25 賞	
	作品名	桜と私
	撮影地	浜松市佐鳴湖
	撮影者	南波 美玖 (浜松市東区)
<選評> この作品は佐鳴湖畔の桜をバックに若い女性をモデルに撮影したもので、春の日のさわやかな風の中の女性の気持ちを表現したものでしょう。風の効果により画面に動きも出てよい作品になっています。構図的には女性を左三分の一位の位置に入れた方が良いと思いますがどうでしょうか。		

他に両部門から 10 点の入選作品が決定いたしました。

全体を通じて良い作品を何点も出されていた方が数人おられましたが、一人一賞の決まりから一点のみの入賞となっております。今回入賞を逃した方も次回の挑戦を期待いたします。



入 選（「桜の風景」部門）



作品名	春を楽しむ	作品名	寿永夜桜
撮影地	静岡市葵区	撮影地	島田市川根笹間上
撮影者	村上 雅已	撮影者	赤堀 路子



作品名	水鏡夜桜	作品名	山里の春
撮影地	静岡市駿府城公園	撮影地	浜松市北区引佐町川名
撮影者	植松 勇人	撮影者	松浦 嘉人

入 選（「桜の風景」部門）



作品名	残照
撮影地	掛川市上西郷八幡池
撮影者	後藤 正徳

入 選（「富士山と桜」部門）



作品名	芳春の彩り
撮影地	富士宮市朝霧霊園
撮影者	加藤 昇



作品名	春暁を望む
撮影地	静岡市清水区伊佐布
撮影者	遠藤 蔵成

入 選 (「富士山と桜」部門)



作品名

幻想夜桜

撮影地

富士宮市田貫湖

撮影者

筒井 章

作品名

春爛漫

撮影地

富士宮市北山

撮影者

山下 多津美



作品名

残照

撮影地

御殿場市印野

撮影者

飯田 龍治

コンクールの審査は、四つ切写真での審査を行っております。  
本書に掲載している写真は、応募作品のデータですので、応募作品  
とは、色調等の相違がありますので、ご了承ください。